

# イノベーション・コースト構想に 寄与する人材の育成について

平成29年2月11日  
福島県教育委員会

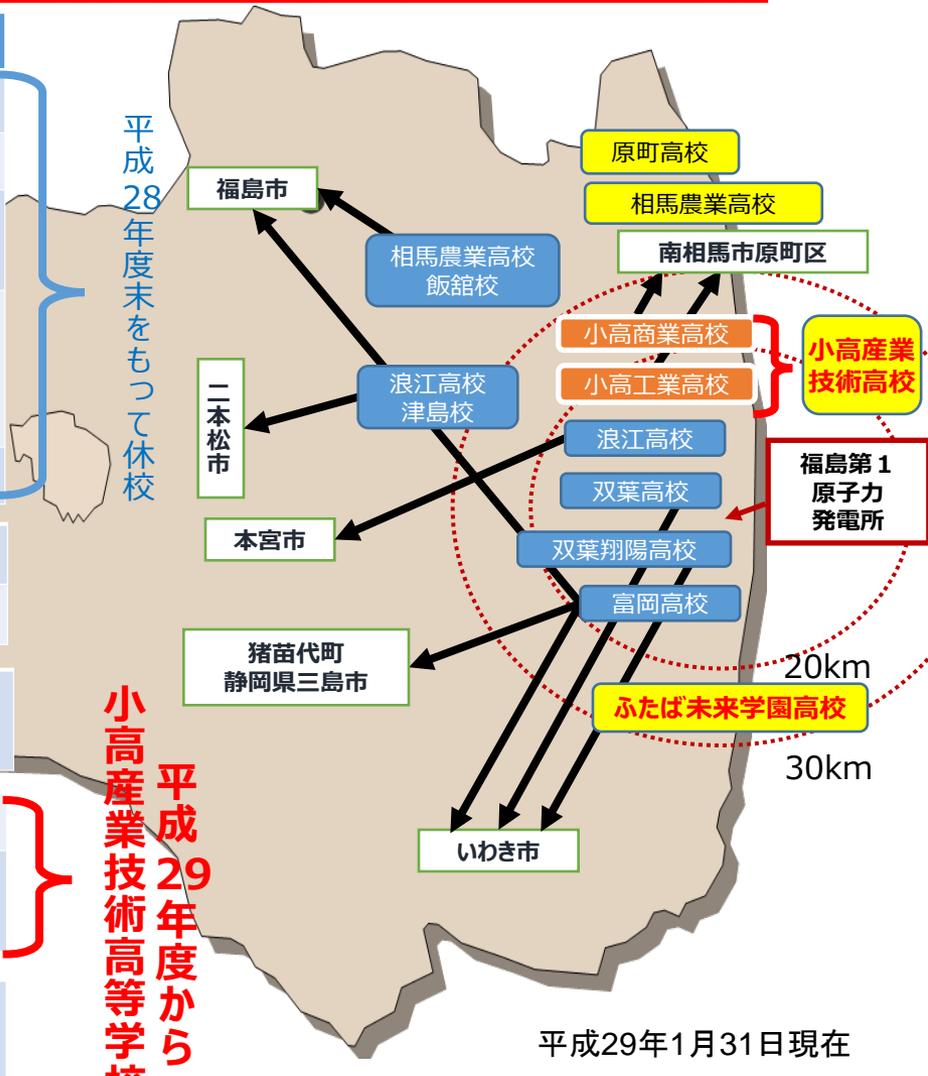


ふくしまから  
はじめよう。

# 避難指示区域等内の県立高等学校の状況

⇒他校の施設や仮設校舎にサテライト校を開設して教育活動を展開してきたが、  
**ふたば未来学園高校や小高産業技術高校の開校など、新たなステージに移行**

校名	震災後の状況
双葉高校	いわき明星大学サテライト(いわき市)
浪江高校	本宮高校サテライト(本宮市)
浪江高校 津島校	安達高校サテライト(二本松市)
富岡高校	福島北高校サテライト(福島市) 猪苗代高校サテライト(耶麻郡猪苗代町) 三島長陵高校サテライト(静岡県)
双葉翔陽高校	いわき明星大学サテライト(いわき市)
原町高校	<b>平成23年10月 自校で再開</b>
相馬農業高校	<b>平成23年11月 自校で再開</b>
相馬農業高校 飯舘校	福島明成高校サテライト(福島市)
小高商業高校	原町高校サテライト(南相馬市原町区)
小高工業高校	南相馬市サッカー場サテライト (南相馬市原町区)
ふたば未来学 園高校	<b>平成27年4月 開校</b>



# 避難地域12市町村の小・中学校の状況

⇒他の市や町において仮設校舎などで教育活動を展開してきたが、  
避難指示等の解除に伴い、地元に戻って小・中学校を再開する動き

震災前 (避難指示解除時期)	震災後の状況 (所在地)
南相馬市小高区 (H28.7.12)	南相馬市鹿島区 → <b>H29.4 地元で再開予定</b>
飯舘村 (H29.3 末)	福島市 (中) 川俣町 (小) → <b>H30.4 地元で再開予定</b>
浪江町 (H29.3 末で 調整中)	二本松市
葛尾村 (H28.6.12)	三春町 → <b>H30.4 地元で再開予定</b>
双葉町 (未定)	いわき市
大熊町 (未定)	会津若松市
富岡町 (H29.4当初で 調整中)	三春町
川内村	<b>H24.4 地元で学校を再開</b>
楢葉町 (H27.9.5)	いわき市 → <b>H29.4 地元で再開予定</b>
広野町	<b>H24.8 地元で学校を再開</b>
田村市都路地区	<b>H26.4 地元で学校を再開</b>
川俣町山木屋地区 (H29.3 末)	川俣町 → <b>H30.4 地元で再開予定</b>



平成29年1月31日現在

※浪江町の小学校4校と中学校2校は現在臨時休業中  
 ※避難指示解除時期、学校再開時期については、報道ベース

# イノベーション・コースト構想を担う人材の育成

⇒県教育委員会の施策の方針を示した「頑張る学校応援プラン」の中に、**「ふくしまの未来に向けた創造的復興教育」**を主要施策に掲げ推進する！

## ＜施策の方向性＞

- 「志」を育む教育による、復興・地方創生の担い手育成
- 課題先進地であるからこそそのアクティブ・ラーニングの推進
- 福島県ならではの教育の推進と小・中学校の再開支援



平成29年4月開校予定  
小高産業技術高等学校

## 【主な取組】

### ① 本県復興を担う人材の育成に向けた**小高産業技術高等学校**の特色ある教育

ー産業革新科を新たに立ち上げ、専門人材の育成を推進するため平成29年4月に開校

### ② 「変革者たれ！」 **ふたば未来学園高等学校**の先進的な教育実践

ー本県の復興を担う人材を育成するための未来創造型教育の推進・普及を図るとともに、平成31年度の併設中学校の開設に向け、カリキュラムの検討や本校舎を新設

### ③ **地域に根差した教育**により復興を支える人材を育成

ー地域産業との連携やアクティブ・ラーニングによる教育を実施  
ー理数教育、外国語・国際理解教育、道徳教育、ふるさと学習、放射線・防災教育など、小・中学校において、本県ならではの教育を推進

# ①小高産業技術高等学校の特色

## ・ 地元産業界が求める人材の育成

### 機械科 1 クラスの増設、産業革新科 2 クラスの新設

大学科「工業科」			大学科「商業科」		
<b>機械科</b> (2クラス) ※ 1クラス増	<b>電気科</b> (1クラス)	<b>産業革新科</b> (工業系) (1クラス)	<b>産業革新科</b> (商業系) (1クラス)	<b>流通 ビジネス科</b> (1クラス)	
		環境 化学 コース	電子 制御 コース	ICT コース	経済・ 金融 コース

地域連携教育 防災教育 リスク管理教育 先端技術教育

相双地方とともにある学校づくり、小高ならではの教育

将来にわたって活躍できる実力を身に付ける専門教育を行う



両学科とも地元に寄与する人材育成



**新技術・新産業の創出**

**帰還する住民と新しい住民のまちづくり**

# ①小高産業技術高等学校の特色

## ・産業革新科の各コース

### ○ 科の設置の趣旨

「商業」・「工業」に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、各コースに関する課題を主体的、合理的に解決できる能力を育て、地域産業を創造し社会に貢献できる資質を養う。

### ○ 4コースの特色と定員



## ・主な連携先

会津大学、テクノアカデミー浜、南相馬ソーラーアグリパーク、南相馬ロボット産業協議会、ソフトバンクドライブ（株）、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会 ほか

# ②ふたば未来学園高等学校の未来創造型教育

## ○ 3つの系列からなる総合学科の高等学校

**アカデミック系列**  
進学に対応した科目選択

**トップアスリート系列**  
部活動に連動したスポーツの科目選択

**スペシャリスト系列**  
農業、商業、工業、福祉に関する科目選択

※ 平成31年4月に併設中学校を開設し、併設型中高一貫教育による人材育成をスタートする予定！

## ○ スーパーグローバルハイスクールとしての取組

学校設定科目「未来創造探究」の授業など、教育活動全体でアクティブ・ラーニングを展開し、グローバル・リーダーに求められる主体性、協働性、創造性を育成します。



先進の学びで地域へ、地域から世界へ、未来へ 社会に貢献する人材の育成

# ③地域に根差した復興を支える人材の育成

## 農業高校などの専門高校と地域産業との連携による次世代の福島を担う人材の育成

地域のニーズに応じた産業の担い手を育成するため、地域産業と連携した課題研究の実施と成果の発信  
○日本梨の芯について果肉の商品化（磐城農業高） ○さんま燻製オイル漬缶詰の開発（いわき海星高）  
○新品種リンドウ苗の大量増殖（福島明成高） ○県産品を使ったコンビニ弁当の開発（小高商業高）

## 【小・中学校の取組】

### 新たな産業創出とグローバル人材の育成

#### 理数教育

- 「科学の甲子園ジュニア」の実施
- 「算数・数学ジュニアオリンピック」の開催



#### 外国語・国際理解教育

- インターネットによるライブ授業
- 校外での異文化体験
- アセスメント受験に挑戦



### 郷土に対する誇りを抱き安心して生き抜く力の育成

#### 道徳教育

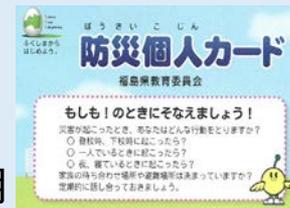
- ふくしま道徳教育資料集の活用と全国への発信



#### ふるさと学習

#### 放射線・防災教育

- 福島県独自の指導資料やDVD教材の作成と活用
- 防災個人カードの配付・活用



## 避難指示等の解除に伴い地元で再開する小・中学校の魅力化の支援

### 福島県学校再開支援チーム

- 市町村に寄り添ったきめ細かな支援

### 12市町村教育復興推進事業

- 12市町村の地域に根差した特色ある教育の推進

# 子どもたちの思いを叶える構想に向けて

## 震災を踏まえた本県生徒の思い

原発事故をきっかけに、現在は再生可能エネルギーなどの研究が進んでいます。

そこで、このような新しい分野も高校教育に取り入れ「福島だからこそ学べること」をつかっていけば、より多くの人たちが福島に集まって来ると思います。

(平成28年度教育公聴会の中学生の発表意見より)



⇒イノベーション・コースト構想に寄与する人材育成のために

### ○ イノベーション・コースト構想において求められる人物像の明確化

ー産業構造や就職先の可視化等による卒業生と企業とのマッチングの強化

### ○ 児童・生徒の職業観の育成のための地域産業との連携

ー職場体験やインターンシップの受け入れや職業人講話などの教育プログラムの構築

### ○ 先進的な学習を支える教育環境の整備

ー教育内容の充実や登下校を含め安心できる学習環境充実のためのハード面・ソフト面の支援